

産業生活常任委員会

(平成25年4月22日)

山本里香委員長

おはようございます。朝早くからお集まりをいただきまして、ありがとうございます。
産業生活常任委員会を開かせていただきます。

森委員のほうから多少おくれるという連絡が入っておりますので、お知り置きください。

それでは、きょうはこの午前10時からのと、午後1時半からまた大きな二つの会議もありますので、それまでの間に次のことをしたいと思います。

今回用意をさせていただきました資料ですけれども、先日行われました議会報告会のフィードバックの仕方について、あす、議会運営委員会に産業生活常任委員会としての結果を報告しなくてはなりませんから、そのことで確認、皆さんで意識統一をしたいと思います。

前回の委員会のときに、委員会で協議をすると決まったことについてはこの委員会で、今期の委員会でというふうな話をさせていただいておったんですけれども、産業生活常任委員会として協議をすると決まったことについては、ほかの常任委員会とのバランスをとるために次期の産業生活常任委員会に申し送るという形になりますので、そのようにさせていただきますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

山本里香委員長

なぜならばということなんですけれども、常任委員会を開いてするということになれば、閉会中のこととして議会運営委員会で確認をとる必要がありますので、それが今回しないということで、次期に申し送る。ただ、平成25年4月30日の日には商工農水部の中心市街地活性化基本計画についての協議会ということで予定をしておりますし、追加ですけれども、ばんこの里会館のあり方について、そして、オーストラリア記念館についてということで協議会をさせていただきたいと思います。協議会については議会運営委員会を通して本会議で確認をするという必要がありませんので、4月30日は予定どおり3本の件で協議会をさせていただきますということで、よろしくお願いをしたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

山本里香委員長

それでは、資料としてA3の大きなものになっておりますけれども、議会報告会で出された市民意見をまとめたものがあります。これを見ていただきまして、三つに分けてこの委員会で確認をしていきたいと思っております。一つは、議会全体として協議をすべきということで議会運営委員会に持っていくもの、そして、二つ目は各常任委員会、つまり産業生活常任委員会として協議すべきとするもの、来期に送りますが、そして、その他ということになります。

ということで、こちらで副委員長とも話をしまして、原案をつくってありますが、大きな紙を見ていただきまして、一つ一つ読み上げさせていただきまして案を出させていただきたいと思っております。もし皆さんの中で、それはちょっと違うんじゃないのとか、そういうことがありましたらご指摘ください。

事務局に読ませます。

栗田議会事務局主事

事務局でございます。そうしましたら、順番に読み上げさせていただきます。

1番のところ、富田1丁目の方からご意見をいただきました。富田分団車庫について、団員22名全員が無理なく活動できるスペースの確保をお願いしたいというふうな意見をいただきました。これに対しまして、議会報告会の中で、予算審議の中で執行部からは予算に限りはあるが、できる限りの対応を行いたいと答弁があったため、消防団員の方々からも積極的に市に要望を伝えてほしい。議会としても執行部に要望として伝えさせていただくというふうな回答をしていただいております。

2番についてでございます。中部地区に消防団がないため、ぜひつくってほしいというふうなご意見をいただきました。これに対しまして、中部地区の浜田では消防団の基礎づくりをどう行っていくのかという方向性が決まっていないのが現状であるが、今後は消防団で行う業務と自治会で実施している放水訓練等をうまくすり合わせていく中で消防団の仕組みづくりを考えていく必要があると感じているとの回答がございました。

3番についてでございますが、富田一色町の方からご意見をいただいております。富洲

原小学校と富洲原地区市民センターをつなぐ階段が急勾配となっているため、スロープをつけるなどの対応をお願いしたいとのご意見がございました。これに対しまして、早急に執行部に伝えるが、地元としても当該案件が地区要望に含まれていることを確認していただきたいというふうなご回答がございました。

4番についてでございますが、山分町の方からご意見を頂戴しております。八郷地区では県道整備に伴い移設された防火用水について市で管理してもらえないか依頼しており、県道完成後に引き継ぐという確認を行っているが、なるべく早く引き継いでほしいというふうなご意見がありました。これに対しまして、当該防火用水の管理状況について確認を行った上で関係部署と話し合いを行いたい。意見は一旦持ち帰らせていただくというふうなご回答がございました。

5番についてですが、伊坂ダムサイクルパークについて、駐車場が少ないので整備をお願いしたいというふうなご意見がございました。これに対しまして、来年度の予算審議において伊坂ダムサイクルパークの駐車場を整備する予算を可決したというふうなご回答がありました。

6番についてでございますが、大矢知中学校新設事業について予算が否決されたと聞いたが、詳しく教えてほしいというふうなご意見がありました。これに対しまして、本件については予算常任委員会全体会においてさまざまな議論を行った結果、大矢知中学校新設事業費を減額する修正案が僅差で可決されたということであり、その後のことはまだ何も議論しておらず、報道で流れていることが事実であるというふうな回答がございました。

7番についてでございますが、まきの木台の方からご意見をいただいております。平成24年8月定例月議会の議会報告会で産官学である商工会議所、行政、四日市大学が連携し、産業振興を行ってはどうかと提案したが、その後の進捗状況はどうなっているのかとのご意見をいただきました。これに対しまして、今のところ三者による産官学連携は実施していないが、執行部で学識経験者を委員とした委員会が設置されたため、今後の議論を見守りたいと考えているというふうな回答がございました。

8番についてでございますが、楠町に設置が検討されているポートピア（競艇の場外車券売り場）事案について議員の態度表明を伺いたいというふうな意見がございました。これに対しまして、ポートピアについては正式に聞いていない案件であるため回答をしかねるが、地元住民の反対があるため設置は難しいのではないかと考えているというふうな回答がございました。

9番についてでございます。東富田町の方からご意見を頂戴しております。地区市民センターは市の一機関としての位置づけではなく、館長にしっかりとした権限を持たせることで地域振興に結びつけられる取り組みを推進すべきであるというふうな意見をいただいております。これに対しまして、地区市民センターをどうしていくのかといった議論は議会の所管事務調査でも行っているが、まだ方向性は見えていない。今後、執行部でさらに検討を進め、議会に報告される中でまとめを行っていくものと考えているというふうな回答がございました。

10番でございますが、都市計画マスタープラン策定時に文化行政に力を入れるべきと意見したが、その内容が反映されていない。文化行政が行政主導で積極的に推進されることを強く望むというふうな意見がございました。これに対しまして、文化行政に対する市の取り組みは、文化維持よりもイベントとして文化を活用する部分に大きな予算がつけられており、文化維持の重要性が認識されていない。議会としても多くの議員が文化維持に関する事業の重要性を認識しており、以前から文化維持に力を入れるべきであるとの指摘を強く行っているとの回答がございました。

11番でございますが、富田2丁目の方からご意見をいただいております。四日市市は音楽や演劇等の文化力が弱いので、もっと力を入れてほしいとのご意見をいただいております。これに対しまして、文化力推進については市長も力を入れて事業を進めているため、議会としてもサポートしていきたいというふうな回答がございました。

12番でございますが、桜花台の方からご意見をいただいております。平成24年8月定例会議会の議会報告会で観光振興条例をつくるよう提案したが、その後どのような議論を行ったのか。これに対しまして、観光振興条例について条例策定の議論を行う前に現在の観光施策について整理を行うため、ことしの2月に観光施策についての所管事務調査を実施し、取りまとめを行った。まだ条例策定に係る議論にまでは進展していないが、来年度につなげていければと考えているというふうな回答がございました。

13番でございますが、東富田町の方からご意見をいただいております。学童保育について富田地区では施設が不足しているため、対応をお願いしたい。これに対しまして、学校の空き校舎を学童保育所として活用できないかと提案しているが、自治会の活動スペースとなっているところがあり、調整が必要であると考えているというふうな回答がございました。

14番についてでございますが、富田地区に津波対策の施設を設置してほしいというふう

な意見がございまして、これに対しましては、津波対策については防災対策調査特別委員会でも議論されているところであり、その報告書が平成25年6月にまとまる予定であるため、具体的な対応についてはそれ以後となると考えているというふうな回答がございました。

15番でございますが、JR四日市駅前の活性化に力を入れてほしいというふうな意見がございまして、これに対しまして、JR四日市駅周辺に駅舎を建てかえ、既存の駅舎部分に道の駅を整備できないかと提案しているが、鉄道事業者との話し合いが進んでいないため、議会としてもサポートしていく必要があると考えているというふうな回答がございました。

以上でございます。

山本里香委員長

15項目のうち正副委員長のほうで案として出させていただきますのは、9番の地区市民センターは市の一環としての位置づけということで、これはこれからも続いていくこととなりますので、これを常任委員会での継続の事項としたい。あと、12番につきましては、これも前回のときに常任委員会での審議をするものということの中で、直接それだけではなくて、観光行政について学びましょうという協議会をさせていただきましたが、その報告書の中にも次へという文書が入っておりますので、申し送りという形で次の常任委員会につなげていくということではどうかという2点です。そのほかの部分でも、会場に参加をしていた行政担当の者が例えばこの4、5、6の4番についてなどは即動いていただいていたりとか、そういうこともありますし、自分たちの認識の中にとどめ置き、あるいは担当のところに報告をするということで進めていけばどうかというふうに考えておりますが、ご意見をいただきたいと思っております。

樋口龍馬委員

よろしく申し上げます。

15番の意見なんですけれども、アンケートのほうにも同じ方だと思っておりますが、書いていただいていますし、じゃ、JR四日市駅前の活性化という点で言えば、余り具体的に絞り込んだものを引き継ぐ必要性ということに関しての検討は必要なのかなと思っておりますけれども、JR四日市駅前活性化ということに対して提言していただいていますし、産業生

活常任委員会の中でも所管する部分かなと思いますので、次年度に引き継いでいく中では議会報告会の中でJR四日市駅前活性化について触れられたということは引き継いでいただいてもいいのかなというふうに思うのですが、いかがでしょうか。

山本里香委員長

確認をさせていただきます。それはの各常任委員会で協議すべきことということの中に入れるということですね、三つ目として。そういうご意見をいただきましたが。

小林博次委員

その前に、整理の仕方、きちっと整理してもらってあるんやけど、質問者の質問項目と、それから、できたら答弁と、それを持ち帰ってどう検討したのと。それから、どう対応したのというやつを整理していただくと返しやすい。だから、見てすぐわかる、質問者が。

山本里香委員長

小林委員のそのご意見は前もいただいたと思います。これは全体のシートなのでこうなっているのですが、それぞれのところに対応がもう済んでいる、例えば既に済んでいるものであるとか、どうしたかということ記録しなければいけないということだったと思うのですが……。

小林博次委員

だから、こういうところで検討した答弁だけでは不十分なやつが多分あると思うんやわね。時間的なこともあるので一面しかしゃべっていないので。だから、その辺を検討して、こういうことですよというのをやっぱり後で少し確認しておかないとまずいかなと。

山本里香委員長

そうしましたら、今、先に出たのはJR四日市駅の活性化のことですけど、全体として、書式は、これは一定のものであるにしても、この委員会として確認をとっていかなければいけない部分があると。ちゃんと残していかなければいけない部分があるということで、それぞれについて、今上がってきている二つプラス1、今ご意見が出ましたが、それ以外

のところはそれなりにちゃんと言える部分はあると思うのですが、それはまとめさせていただくとして、次上げていく部分をまず上げさせていただいて、不十分な部分について、ここはこう書き込めという意見があったら、これでご意見があったらここで言うていただいて、それを反映させていただいたものをつくらせていただきたいと思います。

小林博次委員

その検討結果というのはここで検討した結果をここへ載せておくと、こういうこと。

山本里香委員長

そういうものをまた自分たちで持つということで……。

小林博次委員

答弁ではないわけやな。

山本里香委員長

答弁以外の部分ですね。その後どう行動したかということですね、委員会として。それをつくらせていただきますが、これはあしたの議会運営委員会に出させていただきます幾つかを選ぶということになりますので、委員会としての資料がそういった記述を残すことが必要だということの中ではさせていただきますし、そういったご意見も議会運営委員会ですさせていただきますと。このまとめをするときにさせていただきますと思います。

伊藤 元委員

小林委員に関連してなんやけれども、これは案なんですけれども、書式はもうこれに決まっておるのかな。今までやってきておるのやけど、前、小林委員からも意見が出ておって、何が言いたいかという、例えば1番、3番、4番なんかやと私も答えさせてもらった1人なんやけれども、個人の意見というよりも議会としての答えとして執行部のほうに伝えていくとか、関係部署と話をしていくとかいうふうな答えが出ますやんか。これを答えた者が執行部に言いに行くのか、委員長、副委員長から言ってもらえるのか、その辺をわかるようにしてほしいなと。だから、対応がどうやったのかということが一目瞭然でわかるような書式にしたほうがいいのではないのかなというような思いが私もしていました

もので、変えられるものならやっぱり次回からそうやって変えていってもらうように申し送っていくというのも一つかなとは思いますが、いかがでしょうか。

山本里香委員長

実はこれを議会運営委員会に出すときは と だけを取り出して、これを全部出して、これとこれをというわけじゃなくて、 と の部分だけを表記したものを出すように今指示がされています。そのように今まで来ていますので、例えばここで となったものは議会運営委員会には紙面として上がらないんですけども、今言われるように、常任委員会としてどう対応したかということを確認に記述する、あるいは委員会としてどうだったかということが必要だという意見が出ているんだと思いますが、それについては個々には対応しているものがもうあるんですけども、現実には。担当のところに行ったりとかはしているんですけども、だけれども、それをきちんと記録するということをするべきだというご意見だと思いますので、今回、産業生活常任委員会としてはそのことをまとめさせてもらいますけれども、全体のところにそういうご意見があると、議会報告会についての話の中でまとめ方についてはそういうこともあるということは意見として出させていただきたい。今後生かしていくという意味の中で出させていただきたいと思います。まとめ方についてですね。

じゃ、そのまとめ方についてのことはそういうことでよろしいですか。

小林博次委員

余りよくないけど、しょうがないわね。

山本里香委員長

現在においてこのところはということがあったら、特にここはこういう行動で必要だということがあったら、それも含めて今ここで出していただきたいと思います。それをまとめたいと思いますので。

小林博次委員

だから、これは議会報告会での検討結果、議会報告会の答弁ではなくて、持ち帰った検討結果になるわけやろう。

山本里香委員長

ここは議会報告会での回答という欄になっていますが、具体的に例えば進めさせていただいたのは、12番はまとめを送らせていただいて、その後でまたご意見もいただいたということもありますけれども、それから、4番については、先ほどのことはもう会場に担当の矢田消防救急課長さんがみえたので、早速矢田消防救急課長さんも行ってもらっていますし、私のほうからもお話をまた再度させていただいている部分がありますし、学童保育についての13番は教育民生委員会の委員長さんのほうにこういう意見が出ておりましたということで言わせていただいて、実態を確認する教育委員会のほうにも伝えてあります。

小林博次委員

これはやっぱり学童保育に関しては不正確やと思うね。「自治会の活動スペースとなっているところがあり」と書いてあるんやけど、実際には施設開放で全部そっちが優先されておるわけや。だから、子供たちの施設であるにもかかわらず、学童保育が後やったから、これが先やったら学校施設を優先して使っておると思うんやわね。だから、「ところがあり」と違って、そうなっているのでやっぱり変えるべきやと。だけど、答弁はそういう答弁にはなっていなかったの、そうすると、回答プラス少し協議した中身が加わると正確になるかなと。

山本里香委員長

教育委員会だけじゃなくて、コミュニティースペースとの兼ね合いがあるのでということで、教育委員会にも実態を伝えさせていただく……。

小林博次委員

いやいや、先に地域コミュニティーで使われているので、学童保育が入り込む余地がないと。だから、「ところがあり」と違って、全部そうなっていると、今。本来なら空き教室を使って、学童保育なり、保育園なり、幼稚園なりをやるべきやけど……。

山本里香委員長

それ固有としてね。

小林博次委員

だけど、そういうことにはなっていない。占領されていると。趣旨としてはこれでええんやけどね、調整が必要やと。だから、調整が必要なんやけど、実態としてはそんな甘い話にはなっていないよと。

山本里香委員長

そうしますと、でも、これを例えば来期の産業生活常任委員会でそのことを引き継いできっちりとしていくということが必要ということであれば、この に当たってきます。今、JR四日市駅周辺の活性化の問題と、それから、学童保育についてコミュニティースペースとの兼ね合いのことが今出されましたが、そのことについてどうするかですけれどもね。あと、先ほど示してある9番と12番のことについてどうするかですが。

小林博次委員

ここのところはやっぱり少し変えてやってほしいわな。

山本里香委員長

記述も。

小林博次委員

学校から離れたところで学童保育というのは危ないんやわな、そこへ行くまでに。

山本里香委員長

それでは、今そういうご意見も出てまいりました。皆様のご意見、これについても、JR四日市駅の活性化についてもいただいて、その上で皆さんの決をとっていきたくと思いますが、ほかにはありませんか。例えば となっているところを へ復活させるという意味合いはありますか。よろしいですか。

(なし)

山本里香委員長

それでは、9番、12番、13番、15番を来期の産業生活常任委員会へ申し送って協議を進めていただくということにさせていただくことでいかがでしょうか。

加納康樹委員

小林委員がおっしゃっていただいた13番も大きいこととは思いますが、当然、これは産業生活常任委員会にという話ではないので、他の委員会となると議会運営委員会に上げないかんということ。

山本里香委員長

前のときに産業生活常任委員会だけではないよねというのを全体へというところへ上げたときに、それは常任委員会でしょうということで戻ったことがありましたよね。あのときはただ観光の基本のことだったので、担当はそうだからということで戻ってきましたね。これは教育民生常任委員……。

小林博次委員

この委員会に関係のないやつはそっちの別の委員会へ送るということにしてもらえばいいのと違うの。

山本里香委員長

伝えることは伝えさせてもらって、そこでそんな意見がありましたということを経済民生常任委員長さんが皆さんに諮って、例えば申し送りの中に入れるかどうかはそちらの考え方になるので、ここはここで上げておいて。どうなんですかね。議会運営委員会に上げて……。

鹿島議事係長

に分類されるものというのは、もちろん自分の委員会に戻ってくるというものも、ほとんど大半がそうだと思うんですけども、ほかの所管の常任委員会の項目についても議会運営委員会に上げていただいて、議会運営委員会から所管の常任委員会におりていくという形もございますので、なので、この件は……。

山本里香委員長

形としては、他の常任委員会にもかかわることなので上げて、それで、それならそうと
いうことで議会運営委員会で決まれば両方が一緒になって考えていかなあかん部分でもあ
るので、コミュニティースペースの問題等があるので、それは全体に上げるという とい
うことにするという方法もあるということですね。 というのは議会運営委員会へ上げて、
全体のものというよりは、議会運営委員会の中で……。

伊藤 元委員

13番について、質問が学童保育についてということとされておるわけで、答弁のところ
で自治会の活動スペースということ、コミュニティの場という話をされておるわけです
やんか。そうやで、主は学童保育なんやで教育民生常任委員会のほうへスルーしていけば、
それでいいのではないのかなと私は思うんですけど、我々の所管じゃないもんね、基本は。
それはコミュニティの場という自治会となれば市民文化部の所管になってくるので我々
のところになりますけど、質問は学童保育やでもうそのまま教育民生常任委員会のほうに
お渡しすればいいのではないですか。私はそう思うのやけど。

山本里香委員長

ではなくて、 で上げて議会運営委員会から教育民生常任委員会にという話になるの
か……。

伊藤 元委員

そういうことか。僕は、各常任委員会で協議すべき意見と書いてあるので、そのまま教
育民生常任委員会にと思ったんやけれども。受けたのは、窓口はうちとしても、議会運営
委員会の中で教育民生常任委員会のほうでこれはこういうふうなご意見が出ましたのでそ
れなりの協議、検討をしてもらって、また何か答えが出たらお願いしますということとい
いのではないのやろうか。

山本里香委員長

ただ、答弁の中にもある、実態について知ってみえるということで、こういう話がそこ

で出たので、それを認識した上でどう対応したかだから、もちろん教育民生常任委員会にもかかわることだけれども、市民文化部ともかかわるとい状況の中という認識をこの常任委員会で確認できれば、この委員会で答弁したことも含めてこの問題について問題点として共有できたら、ここでも考えなくちゃいけないねということにはなるんだと思います。

小林博次委員

考え方によっては、コミュニティースペース、これはここの所管やわね。コミュニティースペースの使い方の中に学童保育としての使い方があるのではないのかと。だから、今はそれ以外が優先されているから学童保育で使えやんけど、無理して絡めれば絡むんやわな。

伊藤 元委員

学童保育所といえば、もう民設民営というのが基本的に言われておるわけで、これが不足しておると言うんやけれども、それが利用者の方々がもう少ししっかりとその色を強めてくるというか、必要性を訴えて、自分たちでまず設置の動き、場所的な問題となってきた多分ここで絡んでおるのやろうと思うんやけれども……。

小林博次委員

ここでの論議にはあれやけど、民設民営と固定化しなくても、東京なんかは公設民営でやっておる。だから、学校施設をみんな使っているんで、学校以外でやっているところのほう田舎都市なんやわね。しかし、学校はがらがらになって、だから、もっと子育て支援の関係で使うことができるのにそういう論議がない。だから、実際にはこの委員会ではなくて教育民生委員会の審議になるんやね。

伊藤 元委員

そうですね。

小林博次委員

最近、重箱の隅をつつくのが多くて、政策論議が少ないと思うんやわ。だから、もっともっとやってもらったらいいと思うな、送っておいて。送ったやつはちゃんと討議してよ

ということで確認してもらえば、ほかの常任委員会から来てもまた熱心にやれば、それが実は政策討論になるのでいいと思うね。

山本里香委員長

今のお話の中では、もちろん13番の問題については当常任委員会とも教育民生常任委員会との兼ね合いもありますし、本来ならば学童保育としてコミュニティースペースとは別にきちんとということなんだと思うんですけれども、理想的に。そこへしてほしいということなんだと思うんですけれども、かかわっていることもあるので、当委員会としての協議すべき事項であるとともに、教育民生常任委員会にも協議していただきたいということでここから全体に上げて、それがそうだなということで議会運営委員会であれば、教育民生常任委員会にもというルートとして、そのルートは正式なルートになるということで、ということになるのかな。 として意見として出すということでいいんですかね、その場所で。

鹿島議事係長

として上げていただいて、ここは各常任委員会として協議すべきという項目でございますので、それをどこで扱うのかという点をまた議会運営委員会で考えていただければ結構かと思います。

山本里香委員長

内容を示してということですね。

それでは、今のお話の内容をまとめていきますと、 として教育民生常任委員会で討議するということも含めてですが、それは議会運営委員会で判断をされることとして、当常任委員会としては申し送ってきちんとしていただかなあかなというふうに考えているということの だと。だから、単純に と。でも、教育民生常任委員会にもかかわることだというふうに考えておりますということをお補足でつけさせていただくということです。

じゃ、13番についてはそのような話ですが、9番、12番、13番、15番と、JR四日市駅の活性化のことについては、特別委員会が以前組織されていて、議会としてもまとめはしてあるのですが、特に指摘が出ておりますが、15番についても、4点について各常任委員会で協議すべきであるということによろしいでしょうか。

(異議なし)

山本里香委員長

ということで進めさせていただきます。そのほかの部分につきましては……。

伊藤 元委員

それと、ちょっと、私、すごく気になる案件が一つあるんやけど、1番なんやけど、ここで予算常任委員会産業生活分科会的时候にも理事者のほうから答弁をいただいたんやけど、でも、この22人がきちっと確保されるスペースの予算はとれておらんと思っておるんやわ、僕。多分、リップサービスの答弁やったんと違うのかなと思っておるの。そうやもんで、これ、我々からも伝えるわと言ったけれども、伝えるだけでええのかなと思うんですよ。多分、でき上がるのは若干広がるかな、どうなんやろうというニュアンスやと思うんですよ。

実際に本当に消防分団車庫に行ってみたら、団員さん22人入れたら物すごく窮屈。そんなのおれへんわ。そうやで、それを訴えたつもりなんやけれども、ある程度地元からの要望をしっかりと聞いて対応すると話はされたけど、多分現実には本当に満足いくところまでいかんのではないかなとすごく私は個人的に心配しておるんですよ。そうやもんで、荒木委員なんかでも一週見に来てくれと言われていましたやんか。そういうことがあるとやっぱりもう少ししっかりとその辺の意見を反映して行ってやらなあかんのと違うかな、後押ししてやらなあかんのと違うかなという気がするんやけれども、やで、また委員会で協議会を開くなりとか、それが、ここの消防分団車庫だけじゃなくて、市内全域の消防分団車庫、皆一緒なんですよ。楠地区のほうは割と広くつくってもらって、団員も多かったでええんやけれども、それで減っていくほうやでええんやけど、そうやけど、ほかは全然狭いと思っておるもんで、例えば議会全体でどこか……。

小林博次委員

問題は使い方なんやな。

伊藤 元委員

確かに使い方もあるんですけどもね。必ず22人がいっぱいというわけでもないんだけどね。でも、一応それだけのメンバーがいるわけですから、せめて10人から15人がゆっくりと待機できるスペースは最低限確保すべきやと思っておるんですけどね。そうやで、その中身の議論をするわけではないんやけれども、やっぱり見解の相違という部分が理事者とあたりもするもんで、それが団員さんやとか住民の思いとお願いと違ってくるとというのが僕はすごく危惧するところなんですよ。そうやもんで、やっぱり今後の検討課題というか、しておいてもいいのと違うのかな、見張りとして。委員会、常任委員会やな。

山本里香委員長

そうしますと、 ということで、各常任委員会、具体的に例えばそういうことを検討して学習をしていくということも含めてと。意見がいろいろこの委員会の中でもきっとあるだろうけど、それを協議して勉強していくというか、そういうことも含めて ということでしょうか。

伊藤 元委員

そうですね。お任せしてしまうとどうしてもあかんと思うで、やっぱり見張っていくという部分で各常任委員会で協議すべきということで扱っておいてもらったほうが安心な気持ちができるんやけど、私はね。

山本里香委員長

そのようなご意見で、 ということにしてはどうかということなのですが。

荒木美幸委員

このご意見をいただいて答弁させてはいただいたんですが、あのとき矢田消防救急課長さんもいらっしゃいましたのでそのてんまつをお聞きいただいている状況だったんですが、終わってからやはりこういったご要望をしっかりと見ていただいたのでと少しお話をしたんですけども、やはり返ってきた言葉というのは予算内でできることとできないことがありますからという一言を残されてお帰りになったわけですね。ですから、その言葉を、それがいい悪いというよりも、やはり現状の市民の方が言われたようなことを受けとめているというふうに私は実は感じなかったんですね。もちろん予算はあるにせよ、どうしてい

いかという基準も示していないし、例えばこの予算内でどれぐらいのことができるのか、どれぐらいまでプラスができるのかというようなことも、基準もまだまだ何もないというような状態を感じましたので、そういうところをどこまで現場を見ながら譲り合えるのかといったこともしっかりと示していく必要があるのかなというのは感じました。補足として。

山本里香委員長

消防分団の待機場所という形になる。このことについて今年の2月、3月にも話はいろいろと行いましたけれども、これを重ねて の協議事項としていくという申し送り、これはただの申し送りではないんですよね。ここに出てくることは、例えば、ことし、こんなことがあって問題となっていましたよというのを申し送ると、ここの中で取り上げて申し送るというのとちょっと違うニュアンスにはなると思うので、今回取り上げて、 として協議事項として送るということについてなんですが、送ってはどうかと。

小林博次委員

そんなに金があるわけじゃないので、地区市民センターの横にくっついておれば何か広い部屋が要るときはそこを使えばええわけやろう、申し込んで。自由に使えるわけやわな。むしろそれよりは消防車そのものが低いところにある。ある日突然水が入ったり津波が来たときにはたちまちパンクするわけや。だから、それを避けるために、例えばかなり背の高いところに絶えず消防車を置いてやるということを優先したほうがプラスにならへんかなと思っているんやけど、別に水を差すわけじゃないんやけど。

伊藤 元委員

消防車両の確保という面でも大事なんやろうけれども、やっぱりこの場ではマンパワーのほうの話をされておるかなという部分もあるし、車両がなくては活動もできへんで確かに小林委員が言われることもしかりなんやけれども、そういった意味ではやっぱり消防団の人たちが快適というのも変やけれども、活動しやすいような車庫づくりというのが僕は必要かなと思うんですね。そうやで、入れていってもいいような気もしますけどね。ただ、高いところに消防車を置けというのと、どういうイメージになるのかがわからんのやけれども、逆に場所が、車庫が離れてしまう、消防団の詰所と車両が離れてしまうということも

考えられますよね、そうなる。そうやで、順序として、出た質問から、要望から持っていけば、そこから入って、要するに車庫づくりと、消防団さんの拠点づくりがどうあるべきかということで常任委員会でしていったらどうかなと思うんですけども、それも当然入ってくると思いますわ。人がおっても車両がなければ活動できやんというのもありますからね。そうやで、やっぱりこのいただいた意見で消防団の拠点がどうあるべきかという形での申し送りということでいけないでしょうか。

山本里香委員長

消防分団の整備というか、消防分団の……。

伊藤 元委員

もう一つ、車両においても結局22人が全部載って移動できるわけでもないし、いろいろと消防団さんの活動についての拠点からそういう行動まで広がっていくような気もするけれども、でも、どこかで一遍この辺の話はしてあげないと僕はあかんのと違うかなと思うもんで、ぜひ申し送りをお願いしたいところですが。

山本里香委員長

そういう意見が出ておりますが、防災対策調査特別委員会でも消防分団の整備についての話はそこでもまとめの中にも入っているというか、そこでも話し合われています。予算決算審議のときにも整備状況などの確認やら要望は委員会としても出しているの、議会としても執行部に要望として伝えさせていただくことになっていきます。

小林博次委員

富田の消防分団だけの話なら別にええですよ。全体になるともうちょっと別の角度の議論をしていかないとまずいかなと思っているので、例えば断層から10mぐらい離しておかないと、断層の近くのやつが三つ、四つあるわけやわね。そうすると、できるだけ早くそういうものを整備してやっていくことがあると、先に大きくせいよだけでは若干まずいと思う。詰所でも逃げおくれる危険もあるわけやでね、彼らが。だから、そういうことも考えて対応していかなとまずいかな。

山本里香委員長

いろいろご意見が出ていまして、ここでの発言は富田分団車庫ということですが、協議会とかということにつなぐことになるので、やっぱり個別のことだけではいけない。これを切り口に次へということになるので、このことについて協議会として申し送るということがどうかということの意見だと思っておりますが、個別のこととしてこういう問題があるよということを、例えば言われたけど、どう行動したかの中で産業生活常任委員会から担当部署に強く話を伝えるということとはできると思っておりますが、またそのことを決算予算審議につなげていくということをお願いしていくということではあると思っておりますが、このフィードバックの中で に入れるということについてはいかがでしょうかということになると思います。どうですか。入れてはどうかという意見が出ていたし、それをもちろん整理しないと、すんなりそのまま入れるということにはならないよという話だったと思っておりますが、ご意見が分かれるところならば決をとらないといけません。

それをどう調理するかは引き継いだところがということになるわけですね。ただ、文言がちょっとここは具体的に書かれ過ぎているので、このことを送るとということになると。プラスして、消防分団の整備について……。

伊藤 元委員

正副委員長から言ってもらえるかなとは思いますが、ただ伝えたよというだけでは僕はあかんと思うので、やっぱり伝えたことによって消防関係の職員さんが地元の人とある程度妥協のできるようなところを見出してもらいたいような当然協議はしてほしいと思っておりますよ。それで、それ以上はやっぱり予算の都合もあるのでなかなか難しいと思うけれども、そこら辺はやっぱりある程度してもらいたいようお願いしていくということは大事なことやと思っておりますけども。そこからまた何かあれば、あれだけ熱意のある人たちやからまた何かのアクションがあったりもするのかなとは思っています。それはまた次の段階やと思っておりますので。

山本里香委員長

それでは、1番の富田分団車庫についてということですが、分団車庫等の整備についてということで として次の常任委員会に協議すべき事項として上げていくと。分団車庫等と書きますが、もうちょっといい表記があれば教えていただきたいと思っております。分団車庫

等としておけばよろしいですね。

ということで、各常任委員会で協議すべきものとして上げていくと、 として。よろしいですか。異議がなければそのように。では、今、 1、 9、 12、 13、 15です。よろしいですか。

樋口龍馬委員

1 番について異議があるというわけではないんですけれども、むしろ我々の対応として、例えば委員長の申し送り事項の中に含めて、来年度以降も非常備消防について広く議論をしてほしいというような申し送りを書いたというほうが向こうさんに伝わりやすいような気もするんですけれども、どちらかというところ、消防全般に、非常備消防の全般についてお話しされてみえたので、富田の分団車庫の部分で常任委員会で協議すべき意見として上げましたと。上げた結果、協議すべきではないという結論を議会としては出しましたともしなった場合、受け取る印象としては、 にとどめておいて、委員長の報告の中にしっかりと盛り込んで申し送りしましたと書いたほうが私がもし質問をしていたらそっこのほうが気持ちがいいかなと思いましたが、あくまで意見でございますが、異議があるというものではございません。

山本里香委員長

というご意見も出ておりますが。

樋口龍馬委員

さっき委員長が言われたように、委員長からも次年度の委員長への申し送りとしてしっかりと申し送りの中に入れたというふうにしていただければ、こういった非常備消防についてもしっかりと協議してくださいねということ、例えば四日市市美術展覧会だってそうじゃないですか。委員長が盛り込んだこと、四日市市美術展覧会なんかでも昨年の豊田委員長が盛り込んだことによって今山本委員長がそれを遂行していているという流れはありますので、上に上げてしまって、上げたところで採用されないものも結構今まで見てきているので、無理に上げてしまって採用されなかったと、上げたんですけど、採用されませんでしたという形になるよりは委員会としてとどめ置いて、今後、非常備消防についてより協議を深めていく必要があるということをもし引き継ぎの事項の中に入れ

ていただけるのであれば、そちらのほうが私はいいのかなというふうに感じましたもので、委員長、そういったことは難しいんでしょうか。

山本里香委員長

まず、このシートのつくり方として書く部分と、この件について。それと、それ以外に申し送りでどうしてもということ次へ申し送る事項というのは確かにあると思いますので、去年も特別にということこのこととこのことはということ申し送りは受けましたけど、そういうふうな形はできないことはないと思いますが、ただ、上げることに異議があるとするのかどうなのかということの確認だと思います。

荒木美幸委員

上げたけど、採用されなかった場合、上に上げたけれども、その場合の流れというか、採用というのか、で上げて、戻されたというか、そういう場合の流れというのはどうなるんですか。

樋口龍馬委員

として上げたけど、これは だろうとか、として上げたけど、これは だろうとかというような、それが、 だろうというふうに振り分けられたという事実を残していくことが果たしてこの案件にとって振りかえをされたということがプラスになるかマイナスになるかといったら、余りいい印象を質問された方は持たれないんじゃないかなというふうに感じたので、今までも で上げて になった。 で上げた になった。 で上げて になったということもありますので、どうかなというふうに、受け取る側の気持ち……。

山本里香委員長

ただ、一番初めのときにそういうようなことがありましたけれども、それはこのシステムの共通理解がなかなかできていなかった部分があったんだと思います。ただ、これを で上げて、 じゃないよとよそが言うようなことではないとは思いますが、それは上げてみなければわかりませんが、そういうものではないとは思いますが、ただ、考え方としてどちらにしても協議をしてもらわなあかんという意味合いはあるんだと思うんです。さっきの分団車庫等と書いたけど、非常備消防という言葉のほうがいいなと私は

今思っていますけれども。

伊藤 元委員

どっちでもいいですよ、私は。要するに思っておるのは、このいただいた意見がある程度もっとものことやなと私は思っておるんですよ。ほかの地域に及んでも活動に温度差はあるんやけど、団員さんの。だけど、やっぱりこうやって、この間、我々のときも団員さんがいっぱい、動員をかけられたのかどうかは知りませんが、結構来てもらっている意見もいただいておりますから、その辺を酌み取って、樋口委員が言われるように、相手が気持ちよく感じるほうが僕はやっぱりええと思うんですよ。そうやで、僕的な思いとすれば、やっぱり理事者の人たちが一旦そちらへ出向いて、できるできやんは別としても、誠意を見せて動いてもらう形が見えれば一番ええなとは思っておるんですけどね。そんな中で、常任委員会、今度、総務常任委員会になるんやった、消防本部は。そっちのほうで消防分団さん、非常備消防についてやっぱり協議していってもらえればなど、いろんな意味で思っています。ですから、どちらでも別にそれは構いません。

小林博次委員

時間の関係があるのであれやけど、通常の常任委員会できちんと審査できるようなものはそこで場があるわけやから、そうじゃない、漏れたものを市民意見として取り上げて整理してやるということのほうが僕はええのと違うかなという気が気持ちの中にあるの発言なんやけど、樋口委員の話もわかるし、だから、委員会としてどうするのかということのほうが大事やと思っておるんやわ。

山本里香委員長

それでは、今そのようなご意見もいただきましたが、ほかはよろしいですか。ありませんか。

(なし)

山本里香委員長

そうしましたら、このことについては委員長として、次は産業生活常任委員会じゃなく

て総務常任委員会になるということですが、きちんと申し送りをさせていただき、非常備消防の整備についてということで申し送りをさせていただきということで進めていきたいと思ひます。それで、このところを書く部分についてはつくらせていただきますので、それは後日配付をさせていただきとして、またそのときは意見があればいただきたいと思ひますが、1番は今回ここでは置いておきまして、9番、12番、13番、15番を としますということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

山本里香委員長

走りましたけれども、そのような形で進めさせていただき、今の現状についてのところをきちんと確認をして書かせていただきますので、これで終わりたいと思ひます。終わります。アンケート等も一緒に資料としてありますので、また確認いただきたいと思ひます。

それでは、これにて産業生活常任委員会を終わりますして、次は4月30日、協議会ということになります。よろしくお願ひいたします。

9 : 5 5 閉議